

中野区立平和の森公園及び中野区立総合体育館

第三者評価報告書

令和5年3月

評価実施機関 ベックス株式会社

まえがき

本報告書は、「中野区立平和の森公園及び中野区立総合体育館」の運営状況を調査し、施設の利用者サービスについて、そのプロセスを評価し、取りまとめたものです。

指定管理者制度は、「多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ること」を目的として、平成15年の地方自治法改正により創設された制度です。

一般に、指定管理者導入施設におけるモニタリングは、指定管理者制度を導入している施設の管理運営状況について、安定的かつ継続的なサービスの提供ができているか、どの程度サービス水準の向上と経費の削減が図られているか、指定管理者に「気づき」の機会を与えることで、指定管理者自らが業務改善を行い、その結果、市民サービス・利用者サービスの向上につなげることを目的とするものです。

本業務は、当施設の指定管理者であるアクティブ中野グループが自ら率先して第三者評価を取り入れ、指定管理者としての運営内容を客観的に把握・確認し、今後の業務改善、市民サービスの向上につなげていくために実施されたものです。

なお、本業務の評価実施主体は、ベックス株式会社¹です。第三者評価員は横浜市の認定評価員で構成されています。

本施設の公募時の事業提案書、基本協定書、年度事業計画書・報告書や各種関連書類に基づき、本施設に即した評価項目を設定し、評価を実施し、履行状況の把握・確認及び利用者サービスの水準を評価しました。もし、サービス水準や実施状況が不十分であれば、それを改善していく必要があります。また、十分なサービス内容であることを明確化することは、指定管理者の自身のモチベーションの維持・向上のためにも重要と考えています。こうした観点に基づき、本報告書を取りまとめています。

本報告書が、貴施設や中野区を通じて、地域住民をはじめ全てのステークホルダーにとって意義のあるものとなれば幸いです。

¹ ベックス株式会社は横浜市において指定管理者第三者評価機関としての認定を受けている機関です。

目 次

1. 調査概要	1
2. 評価結果の総括	3
3. 各評価結果	5
3-1. 施設の運営方針	6
1. 成果目標への達成度合い	
3-2. 安定的に施設サービスを提供できる体制の実現	9
1. 人員配置	
2. 人材育成・人材確保	
3. 緊急時、繁忙期等の対応	
3-3. 施設の適切な維持管理	12
1. 安全管理体制	
2. 修繕・工事業務	
3. 環境目標・活動	
3-4. 区民の平等・公正な利用の確保	15
1. 利用者の意見・要望の把握とその反映	
2. 多様な利用者に対する配慮	
3. 個人情報の保護、情報の管理	
3-5. 施設運営サービスの向上、利用者増の取組み	18
1. 公園施設の管理体制・運営	
2. 総合体育館の管理体制・運営	
3. 利用者の安全確保	
4. 来園・来館意欲の向上(情報発信・広報)の取組み	
5. その他サービスの向上	
3-6. 魅力的な事業の展開（指定事業、自主事業）	23
1. 総合体育館を活用した教室等の企画提案	
2. カフェスペースの運営	
3. 地域活動の場、コミュニティの場の提供	
4. イベントスペース等を活用した公園・体育館の一体的なイベント企画・提案	
5. 自主事業の実施状況	
3-7. 地域・他機関との連携	28
1. 地域・団体・機関等との連携協力	
3-8. 施設の効率的な運営	29
1. 収支計画書・報告書	

1. 調査概要

【 目的 】

指定管理者制度は、公の施設の管理に民間の能力を活用することにより、「住民サービスの向上」及び「経費の節減」を図ることが主たる目的とされています。

そこで本調査は、「住民サービスの向上」及び「経費の節減」が実現されているか、いわゆる PDCA サイクルにおける C（チェック）のステップを第三者として実施し、施設の管理運営の持続的・継続的な改善に資することを目的として実施します。

【 調査概要 】

本施設の指定管理者として管理・運営を実施しているアクティブなかのグループ（代表企業；東京アスレティッククラブ）から委託を受け、施設の管理運営の水準、運用状況、履行状況について、調査を実施します。

調査にあたっては、独自の評価項目に基づき、御社が公園グループごと（事務所ごと）に実際に実施している業務内容について、各種資料（報告書、計画書、マニュアル、手順書等）や担当者様へのヒアリング、現地視察により把握・分析します。

ヒアリングや現地視察により把握した内容について、良い点や改良が望まれる点などを整理し、「現在、どのようにして利用者の満足を維持・向上しようとしているか」を考察（第三者評価）しまとめます。

【 対象施設 】

中野区立平和の森公園及び中野区立総合体育館

【 指定管理者 】

アクティブなかのグループ

指定期間：令和2年～令和6年度(5か年)

【 評価実施機関 】

ベックス株式会社

東京都千代田区神田多町 2-2 神田 21 ビル 6 階

【 訪問調査実施日 】

令和5年3月3日

【 施設所在地 】

施設名	所在地	施設面積
中野区立総合体育館	東京都中野区新井三丁目 37 番 78 号	約 12,367 m ²
中野区立平和の森公園	東京都中野区新井三丁目 37 番 78 号	約 70,441 m ²

【評価基準】

以下の視点で、S、A、B、C、Dの5段階で評価しました。

- ・基本協定書や事業計画書、管理仕様書、業務基準書等に即して業務が実施されているか
- ・実施内容が要求水準を満たしているか（目標を達成しているか）

総合的観点から、評価B以上であれば、運営において問題がないことを意味します。

■評価基準

評価基準	
評価区分	評価内容
S	・協定書や事業計画書等を著しく上回っている。 ・効果的な取り組みが実施され、目覚ましい成果がでている。
A	・協定書や事業計画書等をやや上回っている ・効果的な取り組みがみられる。
B	・概ね協定書や事業計画書等のとおりである。
C	・協定書や事業計画書等をやや下回っている。（一部が未達成※）
D	・協定書や事業計画書等を著しく下回っている。（未達成）

※評価区分C「一部が未達成」とは、合理的な理由があり、未達成の場合を言う。

■評価シート（例）

各評価項目、施設グループごとに評価を記載します。（下記は記載例）

評価項目 A-1：職員体制	評価結果	
	自己評価	第三者評価
事業計画書のとおり、職員体制を構築しているか	A	A
評価機関設問		
構築している	B	C
確認手段	評価機関 所感	
・ヒアリング ・訪問調査当日の出 状況及び出勤簿	【 良い点 】 ・ 良い点を記載します。 【改善が望まれる点】 ・ 改善が望まれる点を記載します。	

大項目ごとに指定管理者自身による自己評価やその他工夫した点等を記述します。

■自己評価シート（指定管理者による記述）

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
〈大項目に関する具体的な取り組みについて、評価項目に関わらず創意工夫した点等を自由に記述します〉

2. 評価結果の総括

■ 評価結果

評価項目	評価結果	
	自己評価	第三者評価
1. 施設の運営方針		
・ 成果目標への達成度合い	A	A
2. 安定的に施設サービスを提供できる体制の実現		
・ 人員配置	B	B
・ 人材育成・人材確保	A	A
・ 緊急時、繁忙期等の対応	B	B
3. 施設の適切な維持管理		
・ 安全管理体制	B	B
・ 修繕・工事業務	B	B
・ 環境目標・活動	B	B
4. 区民の平等・公正な利用の確保		
・ 利用者の意見・要望の把握とその反映	B	B
・ 多様な利用者に対する配慮	B	B
・ 個人情報の保護、情報の管理	B	B
5. 施設運営サービスの向上、利用者増の取組み		
・ 公園施設の管理体制・運営	B	B
・ 総合体育館の管理体制・運営	B	B
・ 利用者の安全確保	B	B
・ 来園・来館意欲の向上(情報発信・広報)の取組み	B	B
・ その他サービスの向上	B	B
6. 魅力的な事業の展開(指定事業、自主事業)		
・ 総合体育館を活用した教室等の企画提案	A	A
・ カフェスペースの運営	B	B
・ 地域活動の場、コミュニティの場の提供	A	B
・ イベントスペース等を活用した公園・体育館の一体的なイベント企画・提案	A	A
・ 自主事業の実施状況	B	B
7. 地域・他機関との連携		
・ 地域・団体・機関等との連携協力	A	A
8. 施設の効率的な運営		
・ 収支計画書・報告書	B	B

■ 評価総括

評価機関 記述 (1/2)	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・当グループは指定期間で達成していく成果目標・指標を「5つの成果指標」を設定し、年度ごとの目標を数値目標として示している。 ・成果目標への達成度合いは、指標1～5について、指標1の施設利用者数は目標の数値にわずかに届かなかったものの、そのほかは概ね目標を上回る結果となっている。初年度からコロナウィルス感染拡大防止の休館等、コロナ禍での運営となっていたが、指定事業の教室プログラムなどは80%以上の参加率を維持するなど運営面での様々な工夫、努力により、区政目標達成に貢献しうる成果が出ていると思われる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・人員に関しては、地域人材の確保が進んでおり、すでに区民雇用率は80%であり、地域密着型の運営が実現できています。区民にとっても魅力ある職場となっていることがうかがえる。 ・緊急時の人員体制についても、必要に応じて人員を増やしての対応を行っている。代表団体及び構成団体はいずれも中野区内や都内近郊に管理施設があり、いざという時にも迅速にバックアップできる体制が整えられている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に係る項目は全てにおいて対応できている。 ・運営開始後1,2年度目については、1年通しての運営ができていない為、数値として前年度との比較は難しいものの、ヒアリングや環境啓発の取組等から省エネを意識した運営を心掛けていることがうかがえた。 ・環境啓発という意味において、サインージを使ったエネルギー使用量の見える化とその効果については、利用者アンケートでその効果を評価できるかもしれません。(利用者の意識の変化を聴く設問をアンケートへの設問追加するなどにより)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的にスタッフが直接対面で利用者の意見・要望に耳を傾け、そのほか、積極的に把握し、施設の運営に役立てようという姿勢をもって取り組まれている。 ・3カ国語対応のリーフレットは未対応なため、次年度以降での対応を期待する。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業のスポーツ教室においては、代表企業はじめグループの持つノウハウを活用した付加価値の高いプログラムの提供がなされている。 ・サウンドテーブルテニスなどの障がい者スポーツの体験会を積極的に行い、障がい者スポーツの振興にもつながるイベントを開催している。今後も様々なイベントの企画・開催で地域の活性化、賑わい創出につなげていくことを期待する。 ・施設利用などの案内については、ホームページから画一的に行っており、ホームページを閲覧すれば、開館時間や休館日など含め一通りの情報を取得できる状態である。また、施設のTwitterアカウントの書き込みもホームページに埋込表示しており、利用者はトレーニング室の利用状況を1時間おきに(混雑時は随時)確認することができるため、混雑時を避けた利用等の利便性向上に貢献している。 ・トレーニング室は、初回利用時に注意事項など記載した書面を配布して担当スタッフより説明を行っている。また、ストレッチスペースの確保など機器の利用動線を念頭に置き、油圧式マシンはまとめて配置するなど使いやすい配置とし、利用者の効率的な施設利用に役立てている。 ・トレーニング室スタッフはパーソナルトレーナーの社内研修を受講し、社内資格を取得している。正しいフォームなどを指導してけがの防止に役立てている点に、安全な利用の推進への配慮が見て取れる。

評価機関 記述 (2/2)

6	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層が参加できる教室事業を展開している。申込み率は80%を超過しており、人気が高く申し込みの多い教室については、定員数の見直しや開催場所の変更を実施するなど、柔軟に対応して、利用者増加につなげている。 ・地域サークルの紹介についても、総合案内の横にチラシラックを設置して、多くの人の目につく形で告知できているため、十分な周知効果が期待できる。 ・カフェ入口に、手書き形式のボードを設置しており、それによりお勧めのメニューや料金などの情報を得られるようにしている。また、地域連携の一環として、地域の事業者が製造したお菓子等を展開し、地域の魅力や情報を展開している。 ・自主事業として設置している契約ロッカーは高い利用率で推移しており、来館者の快適な利用に貢献している。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・平和の森公園において防災訓練、防災ウォーク等のイベントを多数実施し、地域の安全や防災意識の向上に貢献している。 ・その結果、野方警察署、野方消防署からの感謝状を頂くなど、地域団体との連携した取り組みを進め、評価されている。 ・公園の広場をうまく活用することにより、当初の想定よりも多くの取組みが実施されている点が高く評価できる。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・収支決算書における予算と実績との差の理由について、的確に把握している。 ・代表企業本社を経理各プロセスに介入させることで、第三者チェックの役割を果たし、決算の客観性を担保している。(決算書類は代表企業本社にて作成) ・収支は黒字に推移しており、売上計画を超過した部分(R4年度は10%超見込)は区への返還を予定している。

3. 各評価結果

1. 施設の運営方針

評価項目 1. 成果目標への達成度合い	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> 目的実現に向けた理念及び施設運営方針に沿って運営できているか。 区政目標達成に貢献する明確な成果目標と達成可能な指標を持って運営できているか。 	A	A
評価機関設問（成果指標1～5の数値）		
指標1「施設利用者数」	A	B
指標2「指定事業教室の参加率」	A	A
指標3「地域連携事業の実施回数」	A	S
指標4「障害者スポーツに関する関心度」	A	A
指標5「平和の森公園利用者の満足度」	B	A
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画書、事業報告書 アンケート調査集計結果報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 事業提案時に、5つの指標を掲げ、これらを事業運営における成果指標（KPI）として設定している。 各指標に対する実績数値は次ページの表参照。 施設利用者数は目標にはわずかに届かないものの、年々増加している。 施設利用者数の目標値はコロナウィルス感染症の蔓延により、目標数を変更している。 障がい者スポーツへの関心度は関連事業の実施回数を実績としている。（実施回数の増加に伴い、参加者の関心度が高まっている。） 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<p>令和2年度は令和3年1月～緊急事態宣言に伴い時短営業20時までの営業 令和3年度は令和3年5月緊急事態宣言に伴い休館 令和4年度 366,000人 320,556人（12月末まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定事業教室は常に80%以上をキープ 地域連携事業は野方警察署と協力し月1回以上実施。その他、野方消防、平和の森運営協議会、新井西町会などとも年1回以上実施。 障がい者スポーツは月4回以上実施、その他、年に3回障がい者事業を実施 公園管理者を中心に幅広い意見を取り入れアンケート結果でも高い水準をキープ

各指標の達成率を下表に整理します

- ・なお、令和2～3年度はコロナウイルス感染拡大防止のための休館等の影響等も考慮し、公募時の事業提案書から目標数値を変更されています。

指標1「施設利用者数」

根拠資料: 事業報告書（令和2年度、令和3年度）等

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	189,000人	281,500人	366,000人
実績	168,294人	271,299人	354,365人
達成率	89%	96%	97%

※令和4年度実績は2月末までの数値

指標2「指定事業教室の参加率」

根拠資料: 事業報告書（令和2年度、令和3年度）等

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	60%	65%	70%
実績	94%	82%	80%
達成率	157%	126%	115%

指標3「地域連携事業の実施回数」

根拠資料: 地域貢献事業表

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	年5回以上	年7回以上	年8回以上
実績	—	27回*	40回
達成率	—	目標回数を達成	目標回数を達成

※令和3年度は5,7,8,9月を除く（5月:緊急事態宣言発令期間、7～9月:オリンピック・パラリンピック期間）

指標4「障害者スポーツに関する関心度」

根拠資料: 障害者スポーツ事業（イベント等実施回数）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	50%以上	50%以上	50%以上
実績	年間9回	年間36回	年間52回
達成率	—	—	—

指標5「平和の森公園利用者の満足度」

根拠資料: 利用者アンケート集計結果報告書（令和2年度,3年度,4年度）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	60%	65%	70%
実績	83.8%	83.9%	77.7%
達成率	140%	129%	111%

※「非常に満足」、「満足」、「まあ満足」の合計

【備考】

達成率の算定

目標値はいずれも数値で示されていることから、達成率は下記のとおり求めている。

$$\text{達成率} = \text{実績値} / \text{目標値} (\%)$$

※但し、指標3に関しては、下記の理由により目標値との乖離が大きいため達成率は示していない。

達成率の評価

成果指標1～5の達成率については下記の通り、5段階評価した。

《達成率と5段階評価の対応》

- ・達成率 150%以上：S
- ・達成率 100%以上 150%未満：A
- ・達成率 80%以上 100%未満：B
- ・達成率 60%以上 80%未満：C
- ・達成率 60%未満：D

指標3「地域連携事業の実施回数」について

- ・指標3「地域連携事業の実施回数」については、当初目標の事業実施回数の根拠を旧中野区立中野体育館における事業実施回数としていた。しかしながら、今回総合体育館においては併設する中野区立平和の森公園を活用した防災訓練や、新体育館であるが故の地元中学校、高校、大学等による職場体験を実施するなどし、表で示す通り当初計画を大幅に上回ったもの。
- ・今後は、本施設における事業実施実績に基づき目標値の再設定を行うことが求められる。

指標4「障害者スポーツに関する関心度」について

- ・指標4「障害者スポーツに関する関心度」については、障がい者スポーツ事業の参加者へのアンケートなどは行っていなかったため、関心度を図ることができていなかった。そのため実績の記載は、障がい者スポーツ事業のイベント等実施回数を記載した。
- ・今後は、年次の利用者アンケートにおいて障がい者スポーツに関する設問を設け、当事者以外への関心度調査を行うことなどにより、関心度を測っていくことが求められる。

指標5「平和の森公園利用者の満足度」について

- ・指標5「平和の森公園利用者の満足度」においては、公園利用者のみ限定せずにアンケート調査結果から施設利用者も含む施設全体の利用者の総合的な満足度の結果を実績値とし、評価することとした。

2. 安定的に施設サービスを提供できる体制の実現

評価項目 1. 人員配置	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した運営が行えているか。 ・ 施設管理を行うにあたり、事業内容の遂行と良質なサービス提供に適した人員が配置されているか。 ・ 人材について配置、育成、確保策は適切かつ効果的で、安定したサービスや技術が継続して行えているか。 ・ 現場に配属されている人員だけでなく、必要な際に指定管理事業者全体として対応する体制になっているか。 	B	B
評価機関設問		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度別事業計画書通りの人員配置になっているか 	B	B
<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問時の当日の勤務表の通りの勤務体制か 	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリング ・ 勤務管理表 ・ 作業日報（委託業者） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館は令和3年11月から通常営業となり、現在は通常通りのシフトになっている。 ・ 効率的かつ機動性のある一体的な管理体制となっている。また、施設の状況に合わせて、十分な業務実施体制で適切な管理運営がなされている。 ・ 清掃業務は外部の業者に業務委託しているが、作業日報等により出勤状況を確認・記録している。 	

■ 指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員配置計画の人数は確保している。状況に応じて受付・トレーニングジムの人員を1名多く配置している。 ・ 受付のシステム研修やトレーニング・ボルダリングの指導研修などを定期的に行っており、新規採用時には研修シートを用いて研修を行っており、担当者がチェックを行っている。

評価項目 2. 人材育成・人材確保	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> 安定した運営が行えているか。 人材について配置、育成、確保策は適切かつ効果的で、安定したサービスや技術が継続して行えているか。 	A	A
評価機関設問		
<ul style="list-style-type: none"> 年度別事業計画書通りの研修を実施しているか 	B	B
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の雇用 - 区民雇用率 	A	A
<ul style="list-style-type: none"> 研修・育成活動の履歴を確認（研修内容、対象者、実施時期等） 	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ヒアリング 研修資料（研修指導対象者、内容等記録） 区への報告資料 	<ul style="list-style-type: none"> 研修計画に沿って、年間を通じて計画的に研修を実施できている。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> すでに区民雇用率80%となっており提案60%を大いに上回っている。 休館日を利用して講義形式の集合研修を実施している。参加できなかったスタッフについては、研修資料を回覧するなどして、パートナースタッフも含めて全員に周知している。 代表企業の営業本部作成の各種研修資料は、イラスト等も交えた非常に分かりやすいものとなっている。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> 研修は実施済み 面接時には中野区民を優先的に採用しており区民雇用率 80%（提案 60%） 35 名中 28 名中野区民 指導研修など指導に関わっているスタッフを集め、休館日を利用して研修を行っている。

評価項目 3. 緊急時、繁忙期等の対応	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した運営が行えているか。 ・ 人材について配置、育成、確保策は適切かつ効果的で、安定したサービスや技術が継続して行えているか。 ・ 現場に配属されている人員だけでなく、必要な際に指定管理事業者全体として対応する体制になっているか。 	B	B
評価機関設問		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時または繁忙期等に対応できる体制を整えているか。 	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 混雑時には人員を増やして対応している。 ・ 公園利用者が倒れた際に AED を利用して、救急救命活動を行った実績（1 件）あり。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・ 繁忙期の際には配置人数を増員して対応している。受付・トレーニングジム・カフェなど1名ずつ増員をしている。

3. 施設の適切な維持管理

評価項目 1. 安全管理体制	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全かつ安定的な施設管理がされているか。 防犯・防災、事故・緊急時等の安全管理体制は適切か。 目標を持って、環境に配慮した施設運営がされているか。 	B	B
評価機関設問		
緊急時の連絡体制、緊急連絡網の有無を確認	B	B
ヒヤリハット事例集の有無を確認	B	B
事故対応マニュアルの有無の確認	B	B
災害対応マニュアル・災害時受援体制ガイドラインの有無の確認	B	B
施設内の避難経路図の掲示を確認	B	B
多言語拡声器の現物を確認	B	B
各トレーニングエリアの安全対策を目視確認	B	B
機器・備品等の定期点検記録の確認	B	B
施設ハザードマップの有無を確認	B	B
設備遠隔管理システムの確認	B	B
公園の巡回管理記録の有無を確認	B	B
公園遊具の点検管理記録の確認	B	B
AED の設置個所の確認	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> 事故対応マニュアル、人権、接遇マニュアル等の各種マニュアルを確認 連絡体制、掲示の確認 	<ul style="list-style-type: none"> AED の設置を表示するサインは大きく、見えやすい位置に設置されている。 緊急時の連絡先、連絡フローが事務所内の良く見えるところに掲示されている。 事故対応マニュアルには重大事故事例なども掲載されており、充実した内容となっている。 トレーニングエリアはトレーニング機器の間隔を十分にとって安全な配置となっている。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本部作成の各種マニュアルは、イラスト等も交えた非常に分かりやすいものとなっている。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> 災害などの緊急時にも対応できるようフローチャートを作成しており、職員全員が確認できるよう見やすい位置に掲示をしている。 優良防火対策物認定施設を取得しており、訓練を定期的実施している。

評価項目 2. 修繕・工事に関する考え方及び計画	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全かつ安定的な施設管理がされているか。 ・予防保全（修繕）の考え方に沿った適切な対応がされているか。 	B	B
評価機関設問		
中央管制装置及び自動制御機器の確認	B	B
作業履歴、対応履歴等の確認（業務支援ツールの活用）	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・実施記録、議事録の確認 ・修繕履歴：月次報告書、区への提出資料の写しを確認 ・点検記録、設備情報共有会議のレジュメを確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業履歴は委託先からのレポートの提出にて確認できている。 ・中央管制装置及び自動制御機器については問題なく作動している。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回設備情報共有会議を実施しており、修繕の必要箇所を共有しており、危険性のあるものは対応している ・毎月月次報告書にて作業報告書を提出

評価項目 3. 環境目標・活動		評価	
		自己評価	第三者評価
・ 目標を持って、環境に配慮した施設運営ができていないか。		B	B
評価機関設問			
・ 年度別のエネルギー削減率		B	B
・ 節電・節水等の啓発ポスターの館内掲示を確認		B	B
確認手段	評価機関 所感		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリング ・ 現地確認（館内掲示） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルス感染拡大防止に係る施策のために、時短営業を実施していたため、前年比での比較が難しい。令和4年度が初めて通年で通常営業を行った年となる。 ・ 1年度目は半年間の営業と時短営業、2年度目は時短営業、休館、オリンピック期間などイレギュラーな期間が多い年であった。さらに感染症防止対策で暖房をかけながら自然換気するなど、コロナ禍特有の対応を実施することもあったが、常にエネルギー使用量の削減を意識した運営を心掛けている。 ・ 環境啓発ポスターの館内掲示を確認。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受付の横に大型スクリーンを設け、エネルギー使用量などの情報が見える化し、利用者に消費量を意識した運営をしていることをアピールするとともに、啓発につなげている点。 		

■ 指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・ サイネージを使いエネルギー使用量の見える化を実施しており、使用量の削減を徹底している。しかしながら、開設から1年通して運営ができていない為、昨年度比の比較は難しい。

4. 区民の平等・公正な利用の確保

評価項目 1. 利用者の意見・要望の把握とその反映	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対する適切な接遇を行っているか。 ・施設利用に関し、公平性を維持し利用者の声を反映させるための方策を実施できているか。 	B	B
評価機関設問		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート結果の確認 	B	B
<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会（意見交換会）の議事録の確認 	B	B
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が苦情や意見を述べやすいよう、窓口（ご意見箱の設置、ホームページでの受付等）を設置しているか？ 	B	B
<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱はわかりやすい場所に設置されているか 	B	B
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート結果や寄せられた苦情等の内容を検討し、対応策を講じているか 	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート集計結果報告書 ・利用者意見交換会の議事録 ・ヒアリング 	<p>・利用者の意見は日常的にスタッフが直接対面で伺うほか、メール、意見箱、アンケートなどにより受け、その内容は館長に報告、集約するフローとなっている。（口頭、連絡メモなどにより都度、館長に報告がなされている）</p> <p>・アンケート、苦情・意見についての共有、対応方法については、休館日のミーティング（月1回）、中野区定例会（月1回）で意見を上げ、必要に応じて判断を仰ぎ、対応されている。</p> <p>【改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の総合体育館の利用者アンケート調査結果では、回答数の男女の分布に大きな偏り見られます。（回答数の約72%が女性、6.5%が男性） ・コロナ禍という状況もあり、通常のアンケート調査と同じ条件での実施が難しかったとのことだが、アンケート調査実施の際には回収数や構成割合にも配慮しながら実施することが望ましい。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートは公園・体育館共に毎年行っており、運営協議会（意見交換会）も毎年実施している。 ・意見箱は受付カウンターに設置しており、いつでも投稿できるようになっている。

評価項目 2. 多様な利用者に対する配慮	評価	
	自己評価	第三者評価
・多様な利用者が施設を利用することについて、十分な配慮がなされているか。	B	B
評価機関設問		
・「中野区ユニバーサルデザイン推進計画」にならった、各種研修等（例：人権擁護に関する研修）を年1回以上実施しているか。	B	B
・車いす専用洗浄機の有無を確認	B	B
・3カ国対応のリーフレットの有無を確認	C	C
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・研修資料 ・ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修を全スタッフ対象に年1回実施している。人権研修の資料を回覧し、再確認している。 ・車いす洗浄機は必要時のみ倉庫から出して対応。 ・3カ国語対応のリーフレットは未対応（現状は、日本語リーフレットのみ）コロナ禍ということもあり、他言語のニーズが少ない状況であった。代わりに英語が堪能なスタッフが対面での英語対応を可能としている。 <p>【改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況をみつつ、必要に応じて、当初計画のとおり、3カ国語対応のリーフレットなどの作成が望まれます。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修については毎年実施済み ・車いす洗浄機も準備されている。 ・リーフレットは作成されているが三カ国は対応できていない。その為、外国語が堪能なスタッフを積極的に採用している。

評価項目 3. 個人情報の保護、情報の管理	評価	
	自己評価	第三者評価
・個人情報保護について十分な配慮があり、必要な措置を講じているか。	B	B
評価機関設問		
個人情報保護に関する行動規範	B	B
個人情報保護に関する研修実施の確認	B	B
データや文書等の保管状況の確認	B	B
電子メール・PC等の情報セキュリティ対策	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング ・現地確認 ・研修資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表団体はプライバシーマーク取得事業者であるため、当施設内の業務においてもプライバシーマークの規則等に準拠した対応を行っている。 ・事務所に鍵用のロッカー、金庫があり厳重に管理している。 ・電子メール送付の際は必ずパスワードを設定。PCもID及びパスワードでログイン管理している。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報は鍵のかかるキャビネットで保管している。使用していない時には鍵をかけており、鍵はセキュリティーボックスを使用しており、パスワード設定を行って管理している。 ・個人情報保護法研修も毎年実施している。 ・電子メールはアドレスのチェック、添付資料を送る場合にはパスワード設定を実施 ・PCは、パスワード設定を行っている

5. 施設運営サービスの向上、利用者増の取組み

評価項目 1. 公園施設の管理体制・運営	評価	
	自己評価	第三者評価
・各公園施設等（多目的運動広場、小多目的広場、バーベキューサイト、300mトラック及び100m走路、じゃぶじゃぶ池等）について、地域特性やニーズを把握した効果的な管理・運営ができていますか。	B	B
評価機関設問		
仕様書等に則り、維持管理業務を実施できているか	B	B
・草地等の各所の利用ルールは文書化されているか。また、実態に合致したルールとなっているか	B	B
団体利用についての情報提供は利便性、公平性に配慮されているか	B	B
運動広場のAEDはわかりやすい場所に設置されているか	B	B
バーベキュー等のレンタル品は適切に管理されているか	B	B
協定書等のおり清掃業務を実施しているか	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング ・現地確認 ・施設ホームページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設ホームページにも公園についての概要、利用方法等の情報を掲載している。 ・団体利用の案内について、HP、館内掲示は画一的に行っている。公園の整備（休止）についてのお知らせ、利用システムについての周知を行っている。プラスアルファは特に施策なし。 ・AEDは多目的広場入口のドア付近にあり、広場内ではその他掲示は無く、利用者が目にしやすい箇所に設置されている。 ・レンタル品であるバーベキューセットは十分な数が用意され常に欠品が無いように管理されている。5サイトに対して10セット用意しているため、翌日までに準備が間に合わない場合でも対応は間に合っている。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理については仕様書通り実施している。 ・利用ルールはPOPにて各所に掲示している。 ・AEDは多目的運動広場の倉庫に保管しており、ドア入口に掲示している。 ・バーベキューセットは使用後に故障確認を行い、故障しているものは修繕に回している。また、バーベキューコンロは予備を多く設けており、故障中でも対応できるようにしている。

評価項目 2. 総合体育館の管理体制・運営	評価	
	自己評価	第三者評価
・各体育館施設等について、地域特性や利用者ニーズを把握した具体的かつ実効性のある管理・運営の方策を示しているか。	B	B
評価機関設問		
初回利用時に利用者が快適にトレーニング機器を使えるよう、利用方法や注意事項に関する説明を実施しているか	B	B
休館日、開館時間などの情報は館内に分かりやすく掲示されているか	B	B
トレーニング室のマシンレイアウトは安全性に配慮した配置となっているか	B	B
クライミングウォールの利用規約は文書化されているか	B	B
各種運営プログラムは計画通りに実施されているか	B	B
協定書等のおり清掃業務を実施しているか	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング ・現地確認 ・書面の実物確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室の初回利用時に、注意事項など記載した書面を配布し、担当スタッフより説明を実施している。 ・エントランス、受付周辺に、休館日、開館時間などの情報をまとめて掲示している。 ・ストレッチ用のスペースが確保され、機器の利用動線(利用順)を念頭に置いたマシンレイアウトになっている。 ・マシンの間を人が通り抜けられるよう、十分な間隔がとられている。 ・油圧式のマシンは一か所に固めて、まとめて使いやすい配置に変更した。 ・クライミング利用規約については、初回利用時に文書を配布している。 ・運営プログラムについては計画書のとおりに進められている。 ・清掃業務については委託業者の報告書により、各日の実施状況を確認。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングジムでは、初回時に利用説明を行っており、使用方法がわからない場合は、スタッフが説明を行っている。 ・マシンのレイアウトでは動線など確保しつつ、スペースを広く使えるように工夫している。 ・トレーニングジム・クライミングウォール共に、初回時に利用説明の用紙をお渡ししており、ルールも大きく掲示している。

評価項目 3. 利用者の安全確保	評価	
	自己評価	第三者評価
・利用者の安全確保は適切にできているか。	B	B
評価機関設問		
危機管理訓練は計画通りに実施されているか	B	B
緊急時対応マニュアルは従業員が手に取りやすい場所にあるか	B	B
機器・備品の定期点検は事前の計画通りに実施しているか	B	B
トレーニング室の職員は安全な利用を周知しているか	B	A
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング ・現地確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理訓練は計画通りに実施されている。 ・初回利用時に、利用者に禁止項目などを記載した用紙を配布し、ルール順守をお願いしている。ルールは壁に大きな文字で掲示している。発見時は声掛け対応を行っている。 ・ルールになっていないものでも、新たに出た問題は対応している。例えばウェイトを追加で持ち込みたいという利用者の要望については、怪我のリスクがあるため、禁止事項に加えた事例がある。 ・トレーニング室のスタッフは、指定管理者社内のパーソナルトレーナー研修を受け、試験を受験する制度（社内資格）を実施している。利用者が安全にトレーニングを行えるように、正しいフォームなどを指導し、けがの防止に役立っている。パーソナルトレーナーのサービスは無いが、安全対策として社内資格を役立っている。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルトレーナーの社内研修受講、社内資格取得は、安全な利用の推進という点で特に評価できる 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は滞りなく実施できている。訓練時にも緊急時マニュアルを確認しており、見やすい位置に掲示している。 ・機器・備品の点検は計画通り実施している。

評価項目 4. 来園・来館意欲の向上(情報発信・広報)の取組み		評価	
		自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・公園及び体育館の利用率向上が図れているか。 ・情報発信・広告に集客向上のための工夫はあるか。 		B	B
評価機関設問			
広報活動の内容・頻度は定期的に更新しているか		B	B
広報活動、その他利用促進策の効果測定を行っているか		B	B
確認手段	評価機関 所感		
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング ・チラシ実物確認 ・ウェブサイト確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の Twitter 公開については、トレーニング室のスタッフから毎時報告を受け、受付スタッフが1時間ごとに(混雑時は随時)定員オーバーや待ち時間など状況の公開を行っており、利用者の混雑時を避けた利用に貢献している。(Twitter フォロワー数は 2,600 人) Twitter は施設 HP に埋込表示しているため、フォロワーでなくても HP を確認することでトレーニング室の情報を確認できる。 ・効果測定、HP の閲覧状況のレポートは年一回区に報告している。レポートにはアクセス件数を記載。 ・新聞折込、生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」、施設 HP 上での申し込み情報の告知などすべて提案書通りに実施した。 ・新聞折込は教室プログラムの受講者募集の時期に合わせて年 4 回(時期によっては表面掲載)、「ないせす」は毎月発行。 ・チラシには体育館の個人利用、トレーニングルームの利用についても情報を掲載している。区内運動施設冊子、中野区の学習/スポーツ講座・イベントガイドブックにも毎年情報掲載しているなど、頻繁な情報掲載は評価できる。 		

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングジムの利用状況を Twitter にて更新。通常時1時間に1回、混雑時はこまめに配信している。 ・公園の個人開放の案内は利用確定の21時に Twitter にて毎日更新をしている。また、ホームページにてイベント情報なども更新している。

評価項目 5. 来園・来館意欲の向上(情報発信・広報)の取組み		評価	
		自己評価	第三者評価
・ その他サービスの向上		A	A
評価機関設問			
※自由回答（特筆すべきことがあれば記載）		-	-
確認手段	評価機関 所感		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリング ・ 現地確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバーウィークイベントは毎年開催。事前に HP 上、館内 POP での告知を行っている。 ・ 健康づくり週間（1 月 3 週目） ※旧体育館では健康づくり月間を実施していたが、キリンレモンスポーツセンター移転後は同イベントは無くなっており、週間企画として復活させた。運動習慣の推進を目的としている。普段よりも多くの参加者がいる。その後も教室への参加室が向上し、集客につながっている。 ・ 10 月スポーツの日は中野区体育協会主催のスポーツフェスティバルに参加し、区民体力測定会にて高齢者向け健脚測定を実施。今後の参加意欲につなげる。また共催する形でジムの開放など行い、地域連携の場として利用されている。 ・ 多目的室をダンスなどの教室発表会で活用しており、事前に館内告知を行っている。発表の場を設けることで、利用者の新たな認知につながっている。 ・ 障がい者対象のサッカー教室、月一回のサウンドテニス（障がい者が多数参加）も実施し、障がい者もスポーツに親しめる機会を提供。 ・ じゃぶじゃぶ池の監視員を 2022 年 4 月に増員し、公園内での水場を全体的に監視できる体制にされた。じゃぶじゃぶ池は運用ルールの作成、提案など当初作成している。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監視員の増員については、1 年間運用した際に、「橋の下が死角になりやすく、増水時などに幼児が入り込むと危険である」とのことから区との定例会で問題提起したうえで所管部署（公園課）と協議し、増員に結び付けている。 		

■ 指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバーウィークイベント、65 歳以上トレーニングジム無料開放を実施 ・ 健康づくり週間、特別教室（一回参加型教室）半額イベント ・ スポーツの日イベント、トレーニングジム無料開放 ・ 教室発表会を実施（ダンス・フラダンスなど） ・ じゃぶじゃぶ池の管理体制を強化する為に監視員を 1 名増加を提案した

6. 魅力的な事業の展開（指定事業、自主事業）

評価項目 1. 総合体育館を活用した教室等の企画提案	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度の向上や利便性の向上に資する、独自性や魅力ある事業を提供できているか。 ・指定事業を充実させるための工夫を行っているか。 	A	A
評価機関設問		
指定事業の実施回数は、計画書に記載の通り行っているか	B	A
事業の内容は、区の基準に沿っているか	B	B
教室プログラムは当初計画通り、年齢層などに偏りのないものであるか	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング ・事業計画書 ・事業報告書 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、コロナ休館などのない通常営業となったため、計画書通りに教室プログラム開催を実施できている。 ・安全に開催が可能なプログラムであれば、定員を1～2名超えても参加できるよう対応した。 ・期初計画以上の集客を集め、売上げ目標も超えている。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気の教室プログラムについては、定員を大幅に超過した場合、①開催回数を増やす、②空き教室の状況等を確認のうえ柔軟に使用教室を変更するなどし、当初予定の人数以上の受講者を受け入れていた。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に参加いただける様に、事業を計画、実施している。実施回数は計画書通り実施できている。 ・指定事業の申込み率は80%をオーバーしている。 ・人気が高く落選者の多い教室の定員数の見直しや開催場所の変更により多くの方にご利用いただけるようにした。

評価項目 2. カフェスペースの運営	評価	
	自己評価	第三者評価
・カフェスペースの運営について、他事業体と協力するなど、魅力ある活用が実現できているか。	B	B
評価機関設問		
ボードなどを活用した来館者への周知は十分に行えているか	B	B
地域団体等他事業体との連携を計画通りに行えているか	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現物調査 ・ ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カフェスペースの設置は指定管理業務だが、コーヒーの販売などの運営業務は自主事業という区分である。 ・ カフェ入口に、手書き形式のボードを設置しており、それによりお勧めのメニューや料金などの情報を得られるようにしている。 ・ カフェを会場としたイベントなどは実施していないが、地域の事業者が製造したお菓子等を販売するなどしている。 ・ 令和3年度のカフェの売り上げ実績は当初予算を大きく超過しているが、これは期中に商品取扱数を増やしたことによる。機動的な対応により、客数増、利用者満足の向上に貢献している。 ・ 令和5年度の事業計画書に乗せて地域業者への委託、障がい者の雇用を計画しており、地域交流の場として更なる活用が期待される。 ・ さらに、SDGsにつながる地域社会との取り組みを協議中である。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カフェを使った地域連携の一環として、地域の事業者が製造したお菓子等を販売し、地域の魅力や情報を展開している。 	

■ 指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区内業者から仕入れたドーナツを販売しており、体育館で買えることで休日にはカフェに立ち寄ってくれるお客様が多くいる。 ・ コロナ対策もあり、カフェを使ったイベントは実施できていないが、感染防止策緩和等を受け、新年度より区内業者とも連携し、地域交流のできる場所の提供を計画している。

評価項目 3. 地域活動の場、コミュニティの場の提供		評価	
		自己評価	第三者評価
・ 地域交流のきっかけとなる効果的な取組みが実施できているか		A	B
評価機関設問			
地域の人々がくつろげる休憩スペースなどは整備されているか		B	B
平和の森公園運営協議会と協働イベントを実施するための働きかけを行っているか		A	B
地域サークルの紹介・広報に配慮しているか		B	B
確認手段	評価機関 所感		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現物調査 ・ ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩スペースのパーテーション設置など、利用者が気兼ねなく安全にくつろげる状態をつくっている。 ・ 地域サークルについてはチラシなどで周知している。(総合案内の横にチラシラックを設置して、多くの人の目につく形で告知できている) ・ 定期的なイベント実施により、地域連携を図れている。今後さらに働きかけを強め、イベント推進を行っていくことが期待される。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チラシラックはインフォメーションコーナー横という目につきやすい場所に置かれており、周知効果は大きいと想定される。 ・ 休憩スペースのパーテーションなど綺麗な状態が保たれている。 		

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩スペースなどは、コロナ対策でパーテーションを設置しており安全に休憩ができるようにしている。 ・ 地域活動の場として多くの団体にご利用いただいている。 ・ 地域活動の広報ができるようにチラシラックを設置している ・ 平和の森運営協議会のイベントは花火イベント、凧揚げイベントを実施 来年度も継続して実施予定

評価項目 4. イベントスペース等を活用した公園・体育館の一体的なイベント企画・提案	評価	
	自己評価	第三者評価
・公園と体育館を一体的に管理運営するメリットを活かし、公園及び体育館の利用者双方が楽しむことのできる魅力あるイベント等の開催ができていますか。	A	A
評価機関設問		
障がい者イベントなど、「誰もが参加できる」イベントの開催実績	A	A
イベントスケジュールを期初に立案し、計画通りに進めているか	A	A
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング ・資料（チラシ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーウィークイベントを毎年実施している。 ・運動頻度が低下する1月(3週目)に「健康づくり週間」を開催し、教室プログラムへの参加を促進している。 ・10月のスポーツの日は中野区体育協会主催の体育フェスティバルの運営をサポートしている。 ・障がい者向けスポーツとしてサッカー教室、サウンドテニス等を実施している。 <p>※詳細は P21 参照</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者サッカーについてはプログラム参加者からも好評を得ている。障がい者スポーツのイベントの年間実施回数を増やしており、障がい者スポーツ振興に貢献している。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい者事業を年間 35 本実施（レクリエーションスポーツ・知的障がい者文化スポーツ事業・障がい者サッカーイベント） ・身体障がい者事業を年間 44 本実施（レクリエーションスポーツ・サウンドテーブルテニス・障がい者テニス） <p>計画以上に実施できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的運動広場・体育館・イベント広場などを使い幅広い年齢層に楽しんでもらえるようなイベントを実施している。

評価項目 5. 自主事業の実施状況	評価	
	自己評価	第三者評価
・公園・体育館の特性・目的を踏まえた自主事業の実施ができているか。	B	B
評価機関設問		
6つの自主事業を計画通りに進めているか	B	B
スポーツ教室の会員数は計画通りに獲得しているか	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告書 ・ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は自主事業としてのスポーツ教室事業を計537回、イベント事業を3回開催。 ・令和3年度は自主事業としてのスポーツ教室事業を計746回、イベント事業を14回開催。 ・契約ロッカーは利用率が高い。 ・貸出品であるバーベキューセットは不足がないように予備品も用意し、適切に管理されている。 ・カフェスペースの運営状況も良好である。(評価項目2参照) 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・教室は計画通り会員を獲得できている。 ・イベントはコロナ禍の中、屋外で実施できるものを多く企画をして行ってきた。規制が緩和されてきてからは館内のイベントも大きな会場を使って実施しており参加する方も安心して参加できるように工夫している。 ・レンタルに関しては購入のしづらいパドルテニスやショートテニスのラケットなどはアルコール消毒を実施しながらレンタルを行っている。

7. 地域・他機関との連携

評価項目 1. 地域・団体・機関等との連携協力	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・協力が得られる地域・他機関と連携できているか。 ・自主事業により得られた利益の還元を含め、具体的な貢献策を実施しているか。 	A	A
評価機関設問		
地域団体との連携・協力について、事前の計画通りに行えているか	A	A
区民の運動実施率向上に貢献したか	B	B
SNS による情報発信は適時行えているか、参加施設の情報を満遍なく発信できているか	B	A
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・現物調査 ・ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯対策：野方警察署と協力している。 ・防災対策：野方消防署協力のもと、防災訓練実施。防災ウォークなど。 ・上記防犯、防災対策を通じ、野方警察署、野方消防署からの感謝状を頂いている。 ・避難場所としての館内見学、起震車の体験、地域保育園にハロウィーンイベントの協力、職場体験（4～5校）小～高校、大学からボランティア活動協力など、新しい施設ならではの需要があり多数の問い合わせを受けている。 ・その他、乗馬体験などを実施している。 <p>※SNSによる情報発信はP21参照のこと</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和の森公園において防災訓練、イベント等を多数実施し、地域の防災意識の向上に貢献している。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献事業は計画より多く実施できている。（野方警察署：交通安全講座、野方消防：防災フェスタ等実施（警察、消防共に表彰状をいただいております）その他、新井西町会などとも連携して地域の安全活動も行っている

8. 施設の効率的な運営

評価項目 1. 収支計画書・報告書	評価	
	自己評価	第三者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な施設運営により経費を縮減するための具体的な計画・実施が出来ているか。 ・収支計画が適正か。 	B	B
評価機関設問		
適切な経理書類を作成しているか	B	B
経理と出納の相互けん制の仕組みがあるか	B	B
収支決算書に記載されている費目に関し、伝票が存在するか	B	B
通帳や印鑑等を適切に管理できているか	B	B
確認手段	評価機関 所感	
<ul style="list-style-type: none"> ・現物調査 ・ヒアリング ・事業報告書（決算報告） 	<ul style="list-style-type: none"> ・経理処理及び収支管理は指定管理者本社がインターネットで連携して行っている。 ・現金管理も含めて、本社を介入させることで経理、収支面での客観性を担保している。（決算書類は代表企業本社にて作成） ・区の監査（2023年2月）で経理等含め問題ない旨をヒアリングにて確認。 ・通帳、印鑑等は金庫保管されている旨を確認。 ・収支決算書における予算と実績との差の理由についての確に把握している。 <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表企業本社を経理各プロセスに介入させることで、第三者チェックの役割を果たしている。 ・収支は黒字に推移している。なお、売上計画を超過した部分(R4年度は10%超)の区への返還を見込んでいる。 	

■指定管理者 自己評価シート

その他、創意工夫した点等、アピールがあれば記載して下さい。

指定管理者 記述
<ul style="list-style-type: none"> ・収支計画は毎年、見直しを行っている。 ・備品、消耗品の発注については、可能な限り相見積を取得することで、適切な支出額となるよう努めている。

令和5年3月

発行 ベックス株式会社

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-2 神田21ビル6階

TEL : 03-5298-0121 FAX : 03-5298-0123

URL : <https://bex-corp.jp/>

